

## 製品安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名 40426102 モノタロウ 接点復活スプレー  
 会社名 株式会社 MonotaRO  
 所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階  
 担当者名 商品お問合せ窓口  
 電話番号 0120-443-509  
 FAX 番号 0120-289-888  
 緊急連絡先 所在地と同じ  
 整理番号 M160812

作成日：平成24年06月19日

改訂日：平成25年11月21日

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

## 物理化学的危険性

可燃性／引火性エアゾール	区分1
引火性液体及び蒸気	区分3

## 健康に対する有害性

急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	区分外
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	区分外
皮膚腐食性／刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷／刺激性	区分2
呼吸器感作性（固体／液体）	区分外
呼吸器感作性（気体）	分類できない
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	区分1B
発がん性	区分外
生殖毒性	区分1A
特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	区分1（神経系）
	区分3（麻酔作用）
特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）	区分1（肝臓）
	区分2（肺、甲状腺、神経）
吸引性呼吸器有害性	分類できない

## 環境に対する有害性

水生環境有害性（急性）	区分外
水生環境有害性（慢性）	区分外

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

ラベル表示物質： なし

危険有害性情報

- ・極めて可燃性／引火性の高いエアゾール
- ・引火性液体および蒸気
- ・重篤な眼への刺激
- ・遺伝子疾患のおそれ
- ・生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- ・単回暴露による臓器（神経系）の障害
- ・吸引により眠気やめまいのおそれ
- ・長期または反復暴露による臓器（肝臓）の障害、臓器（肺、甲状腺、神経）の障害のおそれ

### 3. 組成、成分情報

物質の特定 単一製品・混合物の区別：混合物（エアゾール製品）

成分情報及び含有量：

	化学名	化学式 又は構造式	官報公示整理 番号 化審法	CAS No.	安衛法通 知対象物	PRTR 法 報告物質	含有量 (重量%)
内容液	エタノール	C <sub>2</sub> H <sub>5</sub> OH	(2)-202	64-17-5	該当	対象外	20～30
	非水溶性ポリアルキレ ングリコール誘導体	—	—	—	対象外	対象外	10～20
	その他	—	—	—	対象外	対象外	1以下
噴射剤	ジメチルエーテル	(CH <sub>3</sub> ) <sub>2</sub> O	2-360	115-10-6	対象外	対象外	60～70

### 4. 応急措置

吸入した場合：直ちに空気の新鮮な場所に移し、患者の虚脱を防ぐため枕をせずに寝かせ、毛布などにくるんで安静保温し、直ちに医師の手当を受ける。

呼吸が止まっている場合には人工呼吸を行い、呼吸が弱い場合は酸素吸入するか、必要ならば人工呼吸を行う。

皮膚に付着した場合：汚染した衣服はすみやかに脱ぎ捨てる。

製品に触れた部分を石けん等を用い、水又は微温湯を流しながら洗い流す。

外観に変化がみられたり、痛みが続く場合、直ちに医療処置を受ける手配をする。

目に入った場合：直ちに清浄水で15分間以上洗眼し、眼科医の手当を受ける。

洗眼の際まぶたを指で良く開いて眼球、まぶたの隅々まで水が良く行きわたるように洗う。

飲み込んだ場合：水で良く口の中を洗浄した後コップ数杯の清水を飲ませ希釈し、可能であれば指を喉に差し込んで吐き出させ、直ちに医師の手当を受ける。意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

### 5. 火災時の措置

消 火 剤：粉末 炭酸ガス 泡 砂

特定の危険有害性：火災の現場にエアゾール容器があると破裂する恐れがある。

消 火 方 法：消火活動には距離を十分にとること。

初期の火災には、粉末 炭酸ガス 泡 砂等の消火剤を用いる。

棒状水の使用は、火災を拡大して危険な場合がある。

大規模火災には泡消火剤を用いて空気を遮断する。

高温にさらされる製品容器に水をかけて冷却する。

消火を行う者の保護：消火作業は、自呼吸式呼吸器等の保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：風下の人を避難させ、漏出した場所の周囲にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）着用し、皮膚への付着や蒸気の吸入に注意する。

環境に対する注意事項：付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。河川等へ排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

除 去 方 法：着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

衝撃、静電気にて、火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

漏れ発生時（噴出時）には風上より処置を行うようにし、容器の露出部は上向きにし、完全にガスを噴出してから処置をする。

付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処置をする。

少量の場合：乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて密閉できる容器に回収する。

大量の場合：盛土で囲い流出を防止し、安全な場所に導いてから回収する。この際、下水、側溝等に入り込まないように注意する。漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため下記の注意を守ること。

取 扱 い：火気と高温に注意。

炎や火気の近くで使用しないこと。

火気を使用している室内で大量に使用しないこと。

火の中に入れてないこと。

取り扱いには換気の良い場所で行うこと。

通風をよくし、蒸気が滞留しないようにする。

密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具をつけて作業すること。

保 管：高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や、火気等の近くなど温度が40℃以上となるとところに置かないこと。

子供の手の届かないところに保管すること。

## 8. 暴露防止及び保護措置

成 分		管理濃度 (ppm)	許 容 濃 度 (ppm)	
			日本産業衛生学会	ACGIH
内容液	エタノール	未設定	未設定	1000
	非水溶性ホ <sup>®</sup> リアルキング <sup>®</sup> リール誘導体	未設定	未設定	未設定
噴射剤	ジメチルエーテル	未設定	未設定	未設定

設備対策：屋内作業場での使用の場合は、発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。  
取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

#### 保護具

呼吸器の保護具：防毒マスク  
 眼の保護具：ゴーグル型保護眼鏡、防災面  
 手の保護具：溶剤用手袋など不浸透性のもの  
 皮膚及び身体の保護具：必要に応じて保護前掛け、保護長靴などを使用する。半袖の作業着は避ける。

### 9. 物理的及び化学的性質

#### 内容液

外観：無色透明  
 比重：0.858g/cm<sup>3</sup> (20°C)  
 融点：常温において液体  
 引火点：13°C (エタノールとして)  
 発火点：439°C (エタノールとして)  
 爆発限界：3.3～19.0vol% (エタノールとして)  
 溶媒に対する溶解性：水溶性

#### 噴射剤

外観：無色気体	密度：0.660
蒸気比重：1.59	蒸気圧：0.41MPa(20°C)
沸点：-24.82°C	融点：-141.5°C
引火点：-41.1°C	発火点：350°C
爆発限界：3.4～27vol%	溶解性：7.0g/100ml水(18°C、760mmHg)

### 10. 安定性及び反応性

安定性・反応性：通常の手扱いにおいては安定である。

### 11. 有害性情報

#### 内容液

エタノールとして

急性毒性	：経口	ヒト	LDL <sub>0</sub>	1,400mg/kg	行動、胃腸(吐気)
		ラット	LD <sub>50</sub>	7,060mg/kg	呼吸器系
	吸入	ラット	LC <sub>50</sub>	20,000ppm/10h	毒性未評価
	経口	ヒト(男)	TDL <sub>0</sub>	700mg/kg	行動(精神生理学上)
	注射	ラット	LD <sub>50</sub>	1,440mg/kg	呼吸器系
	注射	犬	LDL <sub>0</sub>	1,600mg/kg	運動失調、呼吸器系
	腹腔	哺乳類	LD <sub>50</sub>	4,300mg/kg	運動失調
変異原性	：小核	マウス(腹腔)		1,240mg/kg・48h	
局所効果	：皮膚	ラビット	400mg	開放	症状(軽度)
		ラビット	500mg/24h		症状(重度)
		ラビット	100mg/24h		症状(中度)
癌原性	：経口	マウス	TDL <sub>0</sub>	320mg/kg/50週	毒性未評価
生殖能	：吸入	ラット	TCL <sub>0</sub>	20,000ppm/7h、妊娠1～22日	発育異常
		ラット	TDL <sub>0</sub>	44g/kg、妊娠、7～17日	発育異常

非水溶性がリアルキングリコール誘導体として

急性毒性 : 経口 ラット LD<sub>50</sub> 類似の参考値11,200mg/kg  
 局所効果 : 皮膚刺激性 データなし。有害性は弱いと思われる。  
 目刺激性 データなし。一時的刺激あるが、有害性は弱いと思われる。  
 発がん性 : 評価されていない  
 その他 : 知見なし

#### 噴 射 剤

急性毒性 吸入 ラット LC<sub>50</sub> 308g/m<sup>3</sup>  
 人に対する毒性 7.5vol%で軽い不快感が起こるが、外観的に変化は無。  
 8.5vol% 21.5分後、均衡障害、運動不調、視覚攪乱など。  
 30分後、軽い視力減退や脳充血が起こる。  
 14.0vol% 23分で麻痺、26分後には失神状態になる。  
 皮膚腐食性/刺激性 皮膚を侵すことは少ないが、液体の状態では皮膚に触れたときは凍傷の恐れがある。  
 眼に対する重篤な損傷/刺激性 気体状態での刺激性はきわめて少ない  
 呼吸器感作性/皮膚感作性 気体状態での感作性はきわめて少ない  
 変異原性 サルモネラ菌 119,000ppm/48時間 変異原性なし  
 ショウジョウバエ 28,000ppm/14日間 突然変異性なし  
 がん原性 データなし  
 生殖毒性 データなし  
 特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露) 麻酔作用  
 特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露) データなし  
 吸引性呼吸器有害性 データなし  
 (注) LD<sub>50</sub> : 半数致死量(mg/kg) LC<sub>50</sub> : 半数致死濃度(ppm)  
 TDL<sub>0</sub> : 最小中毒量(mg/kg) TCL<sub>0</sub> : 最小中毒濃度(ppm) LDL<sub>0</sub> : 最小致死量(mg/kg)

## 12. 環境影響情報

### 内 容 液

エタノールとして

残留性/分解性 理論酸素要求量 : 2.10mg/L  
 BOD<sub>5</sub> : 0.93~1.67mg/L  
 COD : 1.99~2.11mg/L  
 バクテリア硝化能の抑制 4,100mg/Lでニトロソモナス種のアンモニア酸化の50%抑制  
 生態毒性 マスの幼魚 LC<sub>50</sub> 11.2g/L・24h  
 コイの一種 LC<sub>50</sub> 18~13.4g/L・96h  
 クリークチャブ LC<sub>50</sub> 7g/L・24h  
 グッピー LC<sub>50</sub> 11g/L・7日

非水溶性がリアルキングリコール誘導体として

有用な情報なし

#### 噴 射 剤

分解性 : 難生分解性  
 蓄積性 : ない又は低いと判断されている。

魚毒性 : 知見なし。

その他 : 炭素-水素組成であることから、光化学オキシダントの原因となり、その高層気象での寿命は3~30時間である。

---

### 1 3. 廃棄上の注意

- ・必ず中身を使い切り、中身がないことを確認して廃棄する。
- ・廃棄は、各自治体の指示に従って行う。

---

### 1 4. 輸送上の注意

国 連 分 類 : (クラス2. 1) 高压ガス

国 連 番 号 : 1 9 5 0

注 意 事 項 : 取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。

容器からの漏れがないことを確認し、運搬中荷崩れで転倒、落下による容器の損傷が起こらないように十分な手段を講じる。

陸 上 輸 送 : 消防法、労働安全衛生法、他法令の輸送について定めるところに従う。

海 上 輸 送 : 船舶安全法に定めるところに従う。

航 空 輸 送 : 航空法に定めるところに従う。

---

### 1 5. 適用法令

高压ガス保安法 : 適用除外 (液化ガス 可燃性ガス)

消 防 法 : 危険物 第4類 アルコール類

労働安全衛生法 : 施行令別表1-4、危険物・引火性の物

施行令別表1-5、危険物・可燃性のガス ; ジメチルエーテル

通知対象物質 (エタノール)

表示対象物質 (該当なし)

P R T R 法 : 該当せず

船 舶 安 全 法 : 危険物 (高压ガス)

航 空 法 : 高压ガス

---

### 1 6. その他の情報

記載内容の取り扱い :

- ・ここに記載された情報は現時点で正確な物と考えられますが、危険・有害性の評価は必ずしも完全な物ではなく、新発見によって変わることがあります。

また、需要家の皆様の使用条件は弊社の管理外の事項となりますので、取り扱いには十分注意して下さい。

引 用 文 献 :

- ・製品安全データシートの作成指針 日本化学工業協会
  - ・化学物質等法規制便覧 化学工業日報社
- その他として、各原料メーカーのMSDSに準拠する。